



# A4 エーヨン

プロダクトデザイン学科4年

婦木 佑太  
菅野 大門  
福井 守  
岩田 俊太郎

シャチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション グランプリ受賞

「face stamp」

指先で簡単に変形させることができるシリコンが素材の、喜怒哀楽の表情を作り出せる顔のスタンプ

コクヨデザインアワード2006 優秀賞

「Leafusen」

紫外線で不可逆的に色が変わり、まるで葉が枯れていくように変化する葉っぱ型の付箋

## 出会い…

4人は、プロダクトデザイン学科 大田尚作教授のゼミ生。各々がもくもくとラボラトリーで作品づくりを続けているうちに、お互い「よくラボにいるな…」と意識し始めた。そして、昨年11月「東京デザインアワード」に4人合作の作品集を持って乗り込むことを決め、A4(エーヨン)を結成した。

\*インテリアメーカー、ショップ、企業、学校、大使館などデザインに関わる様々な団体、デザイナーが参加する日本最大、最良のデザインイベント

## 一番楽しい瞬間…

お互いを認め合っているからこそ、チーム内でデザインのアイディアがひらめいたときのうれしさを4人で共感。1人のアイディアを、4人の技術と知識で何倍もいいものにしていく。

## 自信…

初コンペとなるシャチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティションでグランプリを受賞し、つづくコクヨデザインアワードでも優秀賞を受賞。トップデザイナーからも「これまでの既成概念をくつがえした歴史に残るデザイン」と賞賛の声。



## A4コンセプト

A4は、プロダクトデザインを通して、人と人、人と物のコミュニケーションを生みだす。「奥行き」と「柔らかさ」をデザインコンセプトに、デザインから拡がる「出会い」を大事にしている。

## プロとして…

卒業を前に、地元神戸にdesign office A4を設立。現事務所は神戸リエゾンラボ\*にある。卒業後も4人でデザイン活動を続けていく。芸工大的ラボで出会った若手デザイナーたちが、さらに新しい「出会い」を生みだすことに期待したい。

\*中小企業の技術の高度化や共同開発を支援するため、神戸市ものづくり復興工場（神戸市兵庫区）内に設置した大学等のサテライト研究室・中小企業共同研究室等からなる産学官民連携研究工房。

# 新型折り紙「どうぶつおりがみ」シリーズを開発・販売

プロダクトデザイン学科4年 黒田 哲平

本学プロダクトデザイン学科大田尚作研究室と作業所利用者の特性を生かし、付加価値の高い商品の開発をめざす作業所商品開発研究会<sup>\*</sup>が共同で、新しいタイプの折り紙「どうぶつおりがみ」シリーズを開発。折り紙には、あらかじめ顔や模様が描かれており、昔からある「ふうせん折り」で順に折っていくと動物の形をした紙風船ができる。

今年は、昨年開発・販売し好評だった「えとふうせん」に続き、新たに「サバンナのなかま」「はばたくコウノトリ」の2種類の折り紙を開発した。この開発には、プロダクトデザイン学科4年の黒田哲平さんのアイデアが大きな役割を果たした。

黒田さんは、大の動物好きで、動物園に通いつめて動物の特徴を調査。夏休みを利用して、豊岡市の兵庫県立コウノトリの郷公園へも観察に出向いた。「どうぶつおりがみ」には、耳の形や爪の数など、動物の細かな特徴が現れるといった黒田さんとのこだわりが随所にある。

昨年販売した「えとふうせん」は、大きな反響をよび、5千セットが完売。今年は、「サバンナの仲間」「えとふうせん」各1万セット、「はばたくコウノトリ」5千セットを販売する。このシリーズは、

3種類とも日本玩具協会の玩具安全(ST)マークを取得。小さい子どもも安心して楽しめるようになり、愛好者がさらに増えそうだ。

小売価格は、それぞれ1セット(わかりやすい折り方ガイド付)300円(消費税込み)。現在、県内の10ヶ所の作業所で、折り紙の袋詰め作業と販売がされている。

\*大田教授を研究指導者とし、作業所関係者、おしゃれ雑貨店経営者らによって構成。障害者支援を続けている木口ひょうご地域振興財団の助成を受けている。

## お問い合わせ

作業所「小春日和」  
〒654-0054  
神戸市須磨区須磨本町2-1-36  
TEL : 078-732-6223



大田教授と黒田さん

### 「サバンナのなかま」

アフリカのサバンナに住むカバやキリンなど12種類の動物。

### 「はばたくコウノトリ」

コウノトリの親子。親は尾っぽを引くと羽がパタパタと上下する。

### 「えとふうせん」

お正月にぴったり。  
十二支が勢ぞろい。



## ボンベイ・サファイア

デザイナーグラス コンペティション  
2007年 第5回日本大会 優秀作品  
(優秀作品5点中2作品を本学が受賞)

### マティーニグラスのデザイン「竹」

大学院・総合デザイン専攻2年 周 彦

### マティーニグラスのデザイン 「SHAKE」

プロダクトデザイン学科4年 西野 将史

## 国際デザインコンペティション2006

最終審査対象作品および  
ビジネスマッチング対象作品選定

### ロボット

### 「イルミネーショントイロボット」

プロダクトデザイン学科2006年卒業  
プロダクトデザイナー 岡田 浩一

### レスキューロボット「Moira 03」

プロダクトデザイン学科2006年卒業  
プロダクトデザイナー 八重倉 航

## 2006県展

### デザイン部門 神戸新聞社賞

### カトラリー「Warmth Cutlery」

プロダクトデザイン学科3年 五島 亜子

## JJAジュエリーデザインアワード2006

### 第4部門 フリーマテリアル 入選

### アクリル樹脂リング「逆転」

プロダクトデザイン学科2004年卒業  
有限会社デフカンパニーシルバーアクセサリー職人 村田 信

Congratulations!

## 第50回宝塚市展

### デザイン部門 市展賞受賞

#### 錫製酒器「UNIQUE」

プロダクトデザイン学科 金 鍾其 実習助手



金助手は、本学大学院に在籍中の第47回同展においても、工芸部門で奨励賞を受賞。

### デザイン部門 佳作

#### 照明「つつむ」

プロダクトデザイン学科3年 佐合 真季

### デザイン部門 入選

#### カトラリー

#### 「table aquarium～子どものためのかトラリー～」

プロダクトデザイン学科4年 黒田 哲平

## 神戸市室内合奏団の定期演奏会のチラシデザイン

ビジュアルデザイン学科3年 森田 恵子

モーツアルト生誕250周年を記念した、神戸市室内合奏団の定期演奏会「あなたに贈るコンサート」が11月25日(土)神戸市立西区民センターで開演された。

この定期演奏会のためのチラシデザインを、本学ビジュアルデザイン学科荒木優子研究室3年生全員が行い、この中から森田恵子さんの作品が、実際に採用。普段クラシックにあまり馴染みのない若い層にもアピールできるように、新鮮なデザインを意識して制作されている。

同コンサートの主力プロモーションツールとして活用されており、コンサートの魅力をさらにアップするものとなった。



## 神戸文学館のバナーデザイン

ビジュアルデザイン学科3年 小澤 千春 森田 恵子

谷崎潤一郎や横溝正史ら神戸ゆかりの文学者の作品などを展示する「神戸文学館」が神戸市灘区に12月4日(月)オープン。神戸市文化交流課より、この文学館のバナーデザインを本学ビジュアルデザイン学科荒木優子研究室が依頼され、同研究室の3年生全員が授業の一環としてデザイン制作を行った。そして、小澤千春さんと森田恵子さんのデザインが採用された。

神戸市が運営する同館は、関西学院のチャペルだった建物を転用。バナーは入り口正面ほか建物周囲5カ所に飾られている。小澤さんが秋冬バージョン、森田さんが春夏バージョンのバナーをそれぞれデザイン。季節によって取り替えられる。

開館時間は、平日は午前10:00～18:00、土日祝日は9:00～17:00。休館日は水曜日。季節の移り変わりに合わせて訪れてみよう。



## Mois du graphisme d' Echirolles <9 femmes graphistes>展への招待

ビジュアルデザイン学科 荒木 優子助教授

< Mois du graphisme d' Echirolles / エシロールズのグラフィック月間 > (2006.11/17～2007.1/20) は、今年で16年目を迎えるグラフィックデザインのメジャーイベントです。舞台はフランス南東部の都市グルノーブルに隣接する、エシロールズというアルプスの麓に位置する美しい田舎



街です。市内11カ所の美術館、ギャラリー、大学、公共施設が会場となり、テーマ展示を中心にさまざまな展覧会やレクチャー、ワークショップが開催され、フランス全土と周辺諸国からグラフィックデザイン関係者、教育関係者、学生など、3～4万人が訪れる国際的なビエンナーレで、普段は静かな街もこの期間は賑やかになります。

今回のテーマ展は<9 femmes graphistes>と題され、ポーランド、コロンビア、アメリカ、ペルー、レバノン、チェコ、ポルトガル、ベルギー、そして日本から私の9名の女性グラフィックデザイナーが招待され作品を展示しました。

私たちの展覧会場は、古い大きな水車小屋をギャラリーに改装した空間で、オープニングには約500名が訪れました。公式プログラムやプレスリリースに、カオス'06のポスターが大きく扱われ、KOBE DESIGN UNIVERSITYの名前を知るきっかけになった人がたくさんいたようです。



## 2006 Advanced Aluminum Award 優秀賞受賞

タンブラー「Can°C」

プロダクトデザイン学科3年 「De.」  
勝山 浩二 筑紫 雄高 竹井 慎  
渡邊 将人 萩野 晃一

## のじぎく兵庫国体スポーツクラブのフラッグをデザイン

ビジュアルデザイン学科 濑川 武史助手

去る9月30日(土)、神戸市須磨区のユニバーサル記念競技場でのじぎく兵庫国体の開会式が開催されました。そのなかの兵庫県の地域スポーツクラブの行進・応援パフォーマンスの際に使用された、フラッグの神戸市内全てのクラブのデザインを担当しました。その数は150を超え、デザイン構想に難航しました。そこで、神戸市教育委員会の井藤幸治先生、それに本学プロダクトデザイン学科の佐野浩三助教授に相談した結果、神戸市の地域スポーツクラブとしての統一したデザインを制作し、各区によって配色を変えることになりました。統一デザインのビジュアルコンセプトとして、まず中心に神戸市全体をデフォルメした形を配置、そして、その中にそれぞれの区を表した10個の花を並べます。また、背景には海を表す深いブルーを配色し、神戸市の地域全体をイメージしたビジュアルを作成しました。そして、区ごとのカラーバリエーションを作成、それぞれのクラブ名を配置することで、合計169種類のフラッグの完成となりました。開会式当日は、秋日和で神戸の青い空にブルーのフラッグがよく映えました。

(瀬川)



## BACA-JA2006 映像コンテンツ部門 入選

CGアニメーション  
「THE NAKED APE」

ビジュアルデザイン学科2006年卒業  
株式会社デジタル・フロンティア CGデザイナー 橋本 大七

どの展覧会も随所にフランスのエスプリを感じられ、センスが良く完成度の高い展示内容で、主としてポスターなど一過性のものとして捉えられがちなグラフィックアートへの理解を社会に対して深めていくこうとする、関係者の強い熱意と意識の高さを感じました。

(荒木)

## 港川地区に コミュニティースペース 「to P」開設

大学院、環境・建築デザイン学科 mi-na project

12月6日(水)に神戸市兵庫区市営地下鉄湊川公園すぐの商店街「神戸パークタウン」に、本学大学院や環境・建築デザイン学科の学生グループ「mi-na project」が空き店舗を利用したコミュニティースペース「to P」をプレオープンしました。

「mi-na project」は、商店街ブログを立ち上げたり、地域交流イベントを行うなど、さまざまなプロジェクトを通して、2003年以来湊川公園周辺の商店街の活性化に貢献してきました。学生たちの活動は、兵庫県の「学生による商店街活性化支援事業」の補助金対象にも選定されています。

このような経緯もあり、神戸パークタウンより、学生たちと湊川地域の連携活動拠点としての利用を前提とした空店舗(2階60平方メートル余り)の無償提供を受け、この度「to P」プレオープンを迎えました。フロアを「ショップ」、「展示&交流スペース」、「オフィス」の三つに区切り、運営しています。

「ショップ」では、芸工大の学生と卒業生、地域の方の作品の販売を行い、独立採算をめざした活動を展開していきます。一般の方からの商品の出品も歓迎します。1月18日(木)の正式オープン以降は、毎日営業する予定です。お近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

■お問い合わせ：湊川プロジェクト事務局  
minapro2006@gmail.com

## 平成18年度日本造園学会 研究奨励賞受賞

### 「自然循環型社会に向けた 潜在的地域資源量の評価と 土地利用計画手法に関する研究」

環境・建築デザイン学科 上原 三知助手

2001年から2005年にかけて、日本造園学会誌「ランドスケープ研究」に投稿してきた原著論文の成果を認められての受賞。同誌に投稿してきた一連の研究成果を、博士論文として九州大学大学院芸術工学研究院(旧九州芸術工科大学)に提出。



## 神戸クリエーター・セレクション2007「ドラフト! 5」 最終審査通過でデザイン商品化へ 売場デビュー

ファッションデザイン学科「みくすさいだー」

柊 伸江助手 2001年卒業 畠 健太郎

2年 浅野 由希子 有村 真由子 吳 民恵 山田 未奈実 陰山 奈津子  
河西 真子 鈴木 迪子 常次 由莉 橋本 奏子 伴 亜利紗  
山本 まり子 吉田 知代 乾 文恵 田尻 千絵

今年で5年目を迎える神戸クリエーター・セレクション2007「ドラフト! 5」に、本学ファッションデザイン学科のデザイングループ「みくすさいだー」が初応募し、見事 最終審査通過しました。

「ドラフト! 5」は、今後のファッション産業を担うクリエーターを神戸へ誘引し、神戸で育成を図っていくため、独立クリエーター等が企画したデザインや商品を、地元を含めた有力セレクトショップが買取条件で売場デビューさせる目的で開催しています。

デビューの決まったショップは大丸とon the couch.両社共にかばんの企画が採用され、来春の売場デビューに向けてサンプル作成を進めています。

グループ名である「みくすさいだー」は、メンバーが作り出す商品のブランド名でもあります。「みくすさいだー」は障害を持った男の子との出会いからはじまった活動で、彼の絵を原画にし、メンバーがデザイン、制作を担当。デザインという付加価値をつけることで誰でもがデザインに関われるシステムを作り、広く世の中に発表を行っています。

大丸では3月14日(水)から、心斎橋店、東京店、京都店、神戸店、梅田店、札幌店、福岡天神店の全国7店舗で展開される予定。on the couchについては詳細未定。ドラフトホームページ(<http://www.kobe-draft.com/>)で随時情報発信されますので、みなさんぜひお店をのぞいてみてください。

## キッズドリームウェアファッションショー 審査員特別賞受賞

ファッションデザイン学科4年 石原 有美子 町田 奈実  
ファッションデザイン学科3年 岡崎 さやか 西林 恵里佳



## Design for Asia Award 2006 アジアデザイン大賞受賞

### 小田急電鉄 「ロマンスカー 50000形 VSE」

デザイン教育研究センター 岡部 憲明教授

アジアのライフスタイルを反映し、それに影響を与える優れたデザインによってビジネス的成功をおさめた世界中の企業に対して授与されるアジアデザイン大賞。「グッドデザインは質の高い生活とビジネス的成功の鍵である」がキーワードで、今年度は500以上のエントリーの中からの受賞でした。

岡部教授は、この「ロマンスカー」デザインで、2005年度グッドデザイン賞も受賞しており、また2008年春運行開始予定の「ロマンスカーMSE」のデザインを担当することも決定しています。なお、「ロマンスカー 50000形 VSE」車体外装のグラフィックデザインは、本学デザイン教育研究センター岡本知久講師が担当しました。

## Antoine-Nicolas Bailly賞 (Academie des Beaux-Arts)受賞

### 「ARCHILAB

JAPON2006

(アーキラボ・

ジャポン2006)」

展 [2006.10 /

21~12/23フ

ランス・オルレア

ン市で開催] の

キュレーション

(寺田真理子氏

と協同) および、

同展カタログ『Faire son nid dans la ville  
(都市に棲む)』



大学院 鈴木 明教授

## 特別講義日程

- 1/13(土) 長谷川 祐子(東京都現代美術館学芸員)  
「都市・建築・アートの新たな関係」  
14:40~17:50 1114講義室
- 1/15(月) 橋田 裕司(プロト商品計画代表／照明塾塾長)  
「照明デザインライトセラピー」  
10:40~12:10 6101教室

## セレンディップexhibition

- 1/11(木)~19(金) 全国大学・高専卒業設計展示会  
2/3(土)~13(火) 造形美術専攻作品展  
2/19(月)~24(土)

D棟ギャラリー「セレンディップ」。6月の新設以来、さまざまな展示を行ってきましたが、今年もどんどん作品展示を行います。使用については規定がありますので、詳細は、本館2階広報入試課、もしくは下記まで。

### ■お問い合わせ

神戸芸術工科大学 広報入試課 TEL: 078-794-5039  
E-Mail: serendip@kobe-du.ac.jp

## 神戸芸術工科大学=卒展〈学部・大学院〉カオス2007

■日 時 2/16(金)~18(日) 10:00~18:00

### ■関連企画

大学院修士作品プレゼンテーション…2/16(金)14:00~15:30  
選抜研究発表会 ………………2/17(土)15:00~17:30  
ファッショショナー ………………2/18(日)13:30/15:30(2回)

### ■会 場

兵庫県立美術館 —芸術の館—  
(〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1)

### ■お問い合わせ

神戸芸術工科大学 教学課 TEL: 078-794-5025



## 写真家/メディア表現学科 宮本隆司教授の新作「NAOSHIMA STANDARD 2」に出品

### ■開催期間

2006.10/7(土)~12/24(日) 2007.2/24(土)~4/15(日)  
10:00~17:00 月曜休

### ■場 所

香川県直島および直島諸島  
<http://www.naoshima-is.co.jp/standard2006>

### ■作 品

#### Pinhole NAOSHIMA

瀬戸内、直島の海岸に設置した幅90cm、長さ180cm、高さ150cmの特大ピンホール・カメラで撮影されたピンホール写真。カメラの中に自分が入って撮影に必要な作業を行う。今回の写真はすべて直島で撮影されたもの。逆さま裏返してピンホール・ブルーに染まった風景は、柔らかな調子でありながら全てにピントが合っており、作者のシルエットが黒い闇となって残されている。印画紙6枚で構成され、縦3m、横3.2m。2006年制作。



## 杉浦康平氏 公開特別講義

- 1/17(水) 杉浦 康平(グラフィックデザイナー／本学名誉教授)  
「複合獣・漢字・マンダラ…「一即多」の文化論」  
16:00~18:00 吉武記念ホール  
定員 500名(先着順・事前申込み不要・聴講無料)

杉浦康平氏は、特にアジアの図像研究の第一人者です。アジア文化を紹介する展覧会の企画・構成や造本を数多く手掛け、世界中のクリエーターに影響を与え続けている杉浦康氏の特別講義を、どうぞお楽しみください。本学学生のみなさんはもちろん、一般の方々のご来場をお待ちしております。

### ■お問い合わせ

神戸芸術工科大学 大学院 TEL: 078-795-7447

## 石原恒和氏 公開特別講義「ポケモン・デザイン論」

12月2日(土)、本学吉武記念ホールにて、公開特別講義「ポケモン・デザイン論—ポケモンのデザインとポケモンビジネスのデザイン—」を開講しました。同講義は、ゲームプロデューサーで株式会社ポケモン代表取締役社長・CEOである石原恒和氏を講師として招いて行われました。

学生、一般の方を合わせて約200名の参加者たちは、ポケモンブームの原点となった世界的ヒットゲーム「ポケットモンスター 赤・緑」が出来上がるまでの苦労話や石原氏の搖るぎないポケモンのコンセプトデザインに対する真摯な考えを興味深く聴講しました。本学メディア表現学科1年生は「子どもから大人まで多くの人々に親しまれているポケモンが、いかに論理的で緻密に考え抜かれたコンセプトのもとにできているのかがよくわかりました。」と感動の面持ちで語っていました。

石原氏は、本学学生の様子を自身の筑波大学の学生時代と重ねて、「神戸芸術工科大学は、学業に専念できる場所。ここで学業に打ち込むおもしろさを知り、なおかつ、どんどん外(実社会)にも出て行ってほしい。大学と実社会を行ったり来たりすることで、学生時代から色々な人脈をつくり、自らのデザイン力に磨きをかけていってほしい。」と語っていました。



## 大学院 鈴木明教授 2007.2/18(日)東京マラソン出場

これまでの東京国際マラソンと東京シティロードレースを一つにまとめた市民参加型のマラソン、「東京マラソン」。記念すべき第1回大会に、本学大学院 鈴木明教授が満を持して出場。

鈴木教授は、国内外問わずさまざまな都市に出かけ、緑道や公園や河岸・海岸や山並みのロードを見つけては実際にジョギングし、コースのコンディションや見所などの情報をブログ「ランニングシェティ」(<http://www.telescopeweb.com/>)にて公開中。ランニングシェティのコンセプトは、「走ることで都市がわかる」。全てのジョガー、マラソンランナー、アスリート、ロハス、エコロジスト、建築家、デザイナーへ「走るための都市」情報を更新するため、東京マラソンを完走します。鈴木教授の東京マラソン(フルマラソン)試走記録は、5時間20分。本番は記録更新なるか。みなさん応援よろしく。



## 2007年度交換留学説明会開催

日 時	1/18(木)、1/24(水) 各日とも12:15~12:55
場 所	1102講義室
協定校	ウエストミンスター大学(英国) 北京理工大学(中国) 東西大学校(韓国)
人 数	協定校 各1名
期 間	出 発 2007年8月or 9月 6ヶ月以上1年以内
特 典	①派遣先の大学の授業料免除 ②本学の学費半額免除 ※留学期間は本学の在籍期間となります。

詳細は本館2階庶務課(TEL:078-796-2562)まで。



## 図書館AVブースリニューアルオープン

AVブースがリニューアルされ、利用しやすくなりました。ブース数が12台から20台になり、その内2人用のブースも4台設置。また、落ち着いてゆっくり観賞できるように、各ブースを仕切りました。ブースのすぐ側には、DVD専用の棚が並び、観たい資料がすぐに探せます。



## 図書館内 貴重書展

閲覧室2階の展示コーナーで、本学図書館が所蔵する924冊の貴重書の中から、テーマに合わせて選定した貴重書を、定期的に展示していきます。初回は、「レオナルド・ダ・ヴィンチ 手稿・素描集展」を開催し好評でした。図書館へお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

### 展示予定

1月 村野藤吾 建築図面集展 4月 ウィリアム・モ里斯展(仮称)

## 入試当日は終日校内立ち入り禁止

一般(前期), 編・転入(Ⅱ期)		
1/27 (土)	全学部	全学科
1/28 (日)	※編・転入(Ⅱ期)は1/28のみ	

一般(後期), 編・転入(Ⅲ期)		
3/9 (金)	全学部	全学科

## 国際交流だより

v  
I  
②  
8

2005年7月~2006年7月 ウエストミンスター大学へ留学

私の留学先のウエストミンスター大学のあるロンドンは、とても魅力的な街でした。イギリスの首都でありながら、生粋のイギリス人を見つけるのが難しいほどに、世界中から様々な人種がひとつの場所に集まっています。

最初の半年は、英会話だけを勉強するために、ロンドン中心部のキャンパスへ。もちろん日本人も多く、最初は日本人の友だちとロンドンを探索していました。最初の半年は英語をうまくしゃべることができず苦労しました。中東の人の英語は聞き取りづらかったり、フランス人の英語は聞きやすかったりと、毎日様々な発見やカルチャーギャップを、コミュニケーションしながら徐々に楽しんでいました。

後半は市外のキャンパスでイラストレーションコースを受講しました。他の留学生に混じって、クラスメートと交流しているうちに外出の機会も多くなり、英語も上達し、とても楽しく実のある時期でした。クラスでは壁に他の生徒の作品が所せましと貼ってあったり、グループで作品に対しての積極的なディスカッションがあったりと、今までと違う授業形態がとても新鮮でした。学内にバーやクラブがあり、時にはゴーカートまで登場しました。昼休みからビールを飲んで、大きな芝生で通りすぎるリスを眺める、ということが日常のリラックスできる環境でした。休みを利用して大学の友だちとフランスやベルギーに旅行したり、パーティーを開いたりするうちに、悩み事が相談できる大事な友人もできました。イラク人の友だちから、テレビのニュースではわからないような現地の様子が聞けたりと、会話や出会いのひとつひとつが、とても貴重な体験でした。

最初に述べたように、ロンドンという多国籍の街の魅力は、人ととのコミュニケーションです。それに触れ、理解しようとすることで、自分自身の理解にもつながります。私とコミュニケーションをとった人たちも多かれ少なかれ、その多様性を楽しんでもらえていれば幸いです。

ビジュアルデザイン学科4年 斎藤 艶子

## ホームページをデザインリニューアル

10月から、ホームページのデザインをリニューアルしました。ビジュアルデザイン学科 戸田ツトム教授のデザインです。最新の学生や教員、卒業生の活躍や大学のイベント情報、学長のメッセージなどを発信していきます。

なお芸工大生・卒業生の個人HPを紹介するページもあります。リンクご希望の方は本館2階広報入試課 (topics@kobe-du.ac.jp)までご連絡ください。

公式ページから、メディア、ファッション、環境・建築の各学科の独自ホームページにもリンクしています。こちらも併せてチェックしてくださいね!

## KDUiのご意見求ム!

このたびみなさまのご意見を聞かせていただくために、食堂前にアンケート回収箱を設置しました。回収箱備え付けのアンケート用紙にご意見をお書きのうえ、ご投函ください。ご投函いただいた方の中から、芸工大特製USBメモリを1名さまにプレゼント。当選者には、電話にてご連絡します。アンケート回収箱の設置期間は、2/14(水)まで。